２０２６年度
繊維製品品質管理士試験の結果等について

２０２６年１１月

〔ＴＥＳ試験実施団体〕

一般社団法人　日本衣料管理協会

１．繊維製品品質管理士（Textiles Evaluation Specialist＝ＴＥＳ）は、1981 年（昭和 56 年）度に通商産業省の告示（1981 年・告示第 381 号）に基づいて生まれたもので、その狙いは企業活動の合理化、消費者利益の保護、企業と消費者の信頼関係の改善にあります。ＴＥＳ制度は、1997 年（平成 9 年）11 月 7 日に通商産業大臣認定の効力が切れましたが、それ以降は日本衣料管理協会の事業として業界主導により運営が図られております。

２．2026 年度のＴＥＳ試験は、去る 7 月 12 日（日）に、東京、関西、名古屋、福井、岡山、福岡の６会場で行われ、その結果、下記の 273 人が全科目に合格し 2026 年 11 月 1 日付でＴＥＳに認定されました。＜詳細は別添資料参照＞

３．繊維・ファッション業界にとって、「品質」の維持・向上はもちろんのこと、持続可能な開発目標（SDGs）や CSR の推進、多様性社会の理解が重要な要素となってまいりました。水質保全、大気汚染・土壌汚染の防止、CO_2 の削減といった地球環境の保護のみならず、労働者の人権保護、ジェンダー、社会福祉等への理解など、幅広い視点で物事をとらえ、行動することが求められています。

ＴＥＳは、繊維製品の品質向上を目的とし、商品企画及び商品仕入れの決定にあたり、基準の設定、判定及び評価、また、指導などの業務を行うことを任務としていますが、こうした状況において、品質の維持・向上、サスティナビリティ・CSR 推進への対策の重要性は一段と高まっており、ＴＥＳ資格者の果たすべき役割は一層大きくなってまいりました。

日本衣料管理協会としても、ＴＥＳ資格者がそれぞれの職場において、繊維製品の品質の向上、消費者利益の保護、企業と消費者の信頼確保や企業の人材養成などの場で活躍されることを期待し、そのためのさまざまな支援をおこなっております。

記

	合計
A. 出願者総数	1,418
B. 認定者数	273
B／A(認定率)	19.3%

〔問い合わせ先〕
一般社団法人　日本衣料管理協会
〒105-0011　東京都港区芝公園 2-11-13-205
TEL 03-3437-6416（代）

２０２６年度（第４５回）
繊維製品品質管理士試験の結果等について
〔詳細版〕

〔ＴＥＳ試験実施団体〕
一般社団法人　日本衣料管理協会

１．２０２６年度試験結果

(1) 試験日、試験場

試験日：２０２６年7月１２日（日）

試験場：東　京‥‥‥‥‥‥文化学園大学
関　西‥‥‥‥‥‥京都女子大学
名古屋‥‥‥‥‥‥椙山女学園大学
福　井‥‥‥‥‥‥福井大学　文京キャンパス
岡　山‥‥‥‥‥‥岡山国際交流センター
福　岡‥‥‥‥‥‥ＪＲ博多シティ会議室

(2) 出願者：１，４１８人　（前年度１，４５６人）

（内　訳）

試験場別	合計	構成比
合　計	1,418	100.0%
東　京	658	46.4%
関　西	184	13.0%
名古屋	383	27.0%
福　井	74	5.2%
倉　敷	97	6.8%
福　岡	22	1.6%

(3) ＴＥＳ認定者【＝５科目合格者２７３人】　（前年度２２６人）

本年、５科目の試験に合格したＴＥＳ合格者数は以下の通り。

出願者数に対する認定者の割合　　２７３／１，４１８＝１９．３％（前年度１５．５％）

（試験場別）

試験場別	合計	構成比
合　計	273	100.0%
東　京	129	47.3%
関　西	34	12.5%
名古屋	85	31.1%
福　井	8	2.9%
倉　敷	13	4.8%
福　岡	4	1.5%

（業種別）

業種	合計	構成比	認定者/出願者
合計	273	100.0%	19.3%
繊維、糸、織物、編物、不織布	26	9.5%	15.6%
染色加工	14	5.1%	20.3%
アパレル	87	31.9%	19.9%
レース、インテリア、寝装・寝具	1	0.4%	9.1%
商社・卸	40	14.7%	20.5%
百貨店・量販店・専門店	8	2.9%	17.4%
通信販売	4	1.5%	20.0%
検査団体	44	16.1%	26.7%
クリーニング	7	2.6%	18.9%
行政	3	1.1%	42.9%
副資材	3	1.1%	21.4%
業種別団体、その他	6	2.2%	14.3%
教育（教員）	3	1.1%	21.4%
学生	25	9.2%	13.8%
無職	2	0.7%	16.7%

（業務別）

業務	合計	構成比	認定者/出願者
合計	273	100.0%	19.3%
生産	18	6.6%	14.9%
営業	41	15.0%	18.0%
商品企画	34	12.5%	26.4%
商品開発	18	6.6%	18.9%
販売	3	1.1%	11.1%
研究	5	1.8%	15.2%
生産管理	31	11.4%	23.5%
品質管理	26	9.5%	18.2%
サービス	3	1.1%	12.5%
試験検査	37	13.6%	26.1%
苦情相談･処理	4	1.5%	30.8%
技術全般	7	2.6%	18.4%
教育指導	2	0.7%	16.7%
その他	19	7.0%	19.0%
学生	25	9.2%	13.8%

（合格者の年齢別）

年代	合計	構成比	認定者/出願者
合計	273	100.0%	19.3%
10 歳代	1	0.4%	6.7%
20 歳代	117	42.9%	18.9%
30 歳代	72	26.4%	20.1%
40 歳代	57	20.9%	22.0%
50 歳代	22	8.1%	14.9%
60 歳代	4	1.5%	21.1%
70 歳代	0	0.0%	-

２．認定証について

繊維製品品質管理士の登録申請に基づき、一般社団法人 日本衣料管理協会において登録原簿が作成され、２０２６年１１月１日付けで『繊維製品品質管理士証』が交付されます。

〔参　考〕

制度の概要

１．繊維製品品質管理士制度について

◆　繊維製品品質管理士は、消費者に供給される繊維製品の品質、性能の向上を図り、繊維製品の品質等について消費者からクレームが出ないように、これらの製品の製造や販売を行う企業等のなかで活躍するスペシャリストです。

その英文名 Textiles Evaluation Specialist の頭文字 Ｔ．Ｅ．Ｓ． を取ってＴＥＳ『テス』の愛称で呼ばれています。

◆　ＴＥＳ資格を得るためには、一般社団法人日本衣料管理協会の行う認定試験に合格することが必要です。試験は、短答式試験３科目と記述式試験２科目の計５科目で行われます。合格科目の有効期間内（当該科目の合格の翌年から３年）に５科目すべてを満たした人は一般社団法人日本衣料管理協会に登録され、繊維製品品質管理士証が交付されます。※

短答式試験は、繊維製品の品質管理業務に携わるために必要な基礎知識および技術の有無を判定するために、次の３科目の筆記試験により行います。

◇『繊維に関する一般知識』

◇『家庭用繊維製品の製造と品質に関する知識』

◇『家庭用繊維製品の流通、消費と消費者問題に関する知識』

記述式試験は、繊維製品の品質管理業務に携わるために必要な識見および応用能力の有無を判定することを目的として、次の２科目の筆記試験により行います。

◇『事　例』

◇『論　文』

※2026 年度試験終了時点で、4 科目合格している場合は合格科目の有効期限が 2 年延長されます。
詳細は下記ページにてご紹介しております。
【TES 試験制度改定のお知らせ】
https://www.tes-shikaku.jp/notice202507.html

◆　繊維製品品質管理士の登録の有効期間は５年です。登録後５年目に一般社団法人日本衣料管理協会の行う『登録更新のための試験』に合格して登録を更新することができます。

２．受験資格について

この試験には受験を制限するものは一切ありません。学歴、年齢を問わず誰でも受験することができます。